

《**将来計画の策定（自由記述）》の記述について

この「将来計画の策定」は自由記述です。したがって、必ずしも記述する必要はありません。しかし短期大学の現在を理解するためには、将来どのような方向に向かおうとしているのかを知ることも重要です。その意味で、短期大学の将来計画（中期・長期計画）がありましたら、差し支えない範囲で記述して下さい。

本学は設置以来、働きながら学べる環境を有する数少ない夜間を主にした課程の短期大学として、教育・研究活動の向上のため、さまざまな努力を重ねてきた。平成19年度からは、学生一人ひとりの豊かなキャリアづくりと多様なライフスタイルに合わせたキャリアアップを図るための改組を行い、「キャリア英語科」と学科名を変更し、「英語コミュニケーションコース」と「観光文化コース」の2つのコースを設けている。

本学では、学生一人ひとりの人間力を高め、実践的な英語力と国際活動に必要な教養を身につけ、世界の平和に貢献する人材を育成することを目指して、長年に亘って学生の修学支援、生活支援、キャリア支援に取り組んできている。今後も、この教育方針を貫いていくと同時に、社会の変化にも柔軟に適応し、常に社会から求められる人材育成のための刷新を図っていく。

修学面では、「人間力」を身に付けた学生を社会に送り出すため、教室外での学修時間を加味した授業形態の導入や、厳格な成績評価のあり方について引き続き検討を重ねる。

また、学生に進路意識を明確に持たせるために、正規の教育課程の中でキャリアに関する科目をさらに充実する。その他、学生のモチベーションアップを図るため、弁論大会や本の虫プロジェクト等で優秀な成績を収めた学生の表彰制度や、ピカ☆イチプロジェクト等の学生の自主的な活動を大学が支援する仕組みの充実も図っていく。

生活面支援では、夜間の大学であるため防犯・安全対策に留意しながら学内環境を整備に努めていく。また、厳しい経済環境の中で、学生のニーズに合った経済支援ができるよう体制整備について、さらに検討を加えていきたい。

キャリア支援では、卒業後であっても就職活動を行う学生を対象にした支援をさらに充実する。具体的には、①既卒者求人の情報提供、②就職活動に関する相談、③資料室及び資料室コンピュータの利用等である。

今後は、財政安定化のために入学者の確保に努め、小規模・単科短期大学ならではの工夫を重ねつつ、併設の京都外国語大学との連携をより一層強めながら、魅力的な学習環境を創造していく。